



あだち社協

夏号

令和6年(2024年) No.76

特集 ちょこっとサポート拠点型モデル事業の紹介

ちょっとした
困りごと解決 ……P1~3

能登半島地震災害ボランティア報告 ……P4

INFORMATION ……P4

●声/ささえあいワズ

特集

ちょこっとサポート拠点型モデル事業の紹介

ちょっとした 困りごと解決

新型コロナウイルス感染症の影響により、一人暮らし高齢者の孤立(孤独)がより一層深刻になっています。困りごとをどこに相談したらいいかわからない、相談できる相手がいないといったケースが増え、さらに孤立を招いています。

地域に埋もれた「困りごと」に少しでも多く気づけるように、地域の居場所(サロン*)を拠点としたサポート体制づくりを進めています。

*地域住民が気軽に立ち寄れて交流できる場所のことです

▼「気軽に立ち寄れて居心地がいい」と人気の絆カフェ



「ちょこっとサポート」は 日常生活のちょっとした困りごとをサポート隊員がサポートする事業です。電球交換、エアコンや換気扇のフィルター掃除、買い物、草取りなどの作業を、30分400円の有償ボランティアで行います。



絆カフェものがたり



特集

ちよこつとサポート拠点型モデル事業の紹介

ちょっとした困りごとと解決

事業所向けにコーヒー豆を配達する「ダイオーズOCS城北」代表の新里さんがオフィスを開放して絆カフェを始めて15年。おいしいコーヒーが飲めて、思い思いの時間を過ごせると、ご近所さんに人気の居場所になっています。時計の電池交換や傘の修理など、ちょっとした修理を頼まれることが増えてきて、「そんなに困っている人がいるなら」と、新里さん自らちよこつとサポート隊員に登録して活動しています。地域の困りごとを解決につなげる、いわば拠点型見守りの場として、活動が広がっています。



コーヒー・お茶はセルフサービスで

ちよこつとサポートをもっと広めたい

電球が切れて困っているおばあちゃんのお宅へうかがって直してさしあげたときに「こんなに暗いところで何日も過ごしていたんだ」と思うと、切なくなりました。テレビのリモコンが壊れていたり、包丁が切れなくなって困っていたりして、直してさしあげたら皆さん喜んでくれます。ちょっとした困りごとを相談できずに暮らしている高齢者はたくさんいると思います。サポートできる人も周りにはたくさんいるので、「ちよこつとサポート」を広めていければいいと思います。

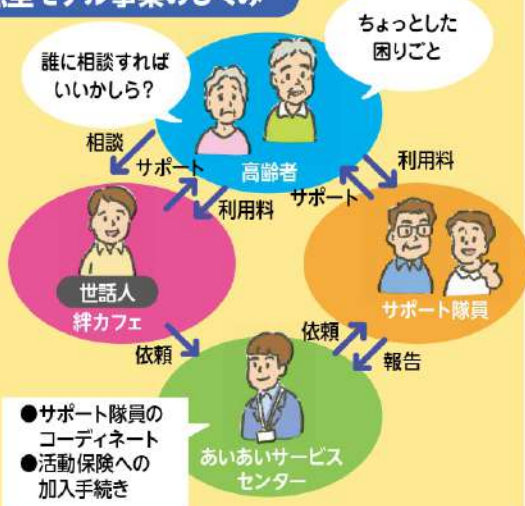


新里原良さん
ダイオーズOCSチェーン
OCS城北代表
東栗原地区民生・児童委員

「ちよこつとサポート」拠点型モデル事業のしくみ

世話人が直接困りごとを聞いてサポート

「ちよこつとサポート」拠点型では、拠点にいる世話人が、日常的な会話から、ちょっとした困りごとをみつけて、足立社協有償ボランティアサービス「ちよこつとサポート」につなげます。絆カフェでは新里さんご自身がサポート隊員として登録されて、自分で対応できそうな相談ごとには自ら出向きます。

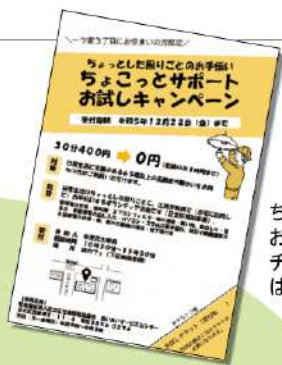


世話人制度を広めたい

困りごとを周囲に相談できずに孤立してしまうケースが増えています。日常の何気ない会話から見えてくる困りごと（地域のなかで困っている人）に対して、地域の世話人さんが直に相談を聞き、できる範囲で対応する、または繋げてもらう仕組み（互助）づくりを進めています。地域の居場所（サロン）や団地、町会等の関係者の方で、世話人制度にご興味がありましたらご連絡ください。



あいあいサービスセンター 高橋祐治



現状を知り より応援しよう

町会の加入率が30%を切り、どんな方がまちにお住まいか全く把握していないところ、町内での絆カフェの存在はありがたいです。ちよこっとサポートの活動には、町会として、チラシの掲示や回覧で微力ながらお手伝いしています。ちょっとしたことで大変困っている方が多い現状を知らされました。一方、この活動には会話があり、心の通いがあることに気づかされました。より一層、この活動を応援していきたいと思っています。

ちよこっとサポートのお試しキャンペーンのチラシ(キャンペーンは終了しています)



北村信也さん
一ツ家三丁目町会長

サポート活動は あつという間の30分

民生・児童委員になって1年半。私も「ちよこっとサポート」のサポート隊員になって、活動しています。地域の高齢者からよく頼まれるのは、お買い物や背中への湿布貼り、パソコンの操作など、ちよこっとしたことです。

趣味のお話など、おしゃべりが楽しくてサポート中の30分間はあつという間です。



荒井由美さん
東栗原地区民生・児童委員



高齢者の見守り まだできることがあった!

新型コロナウイルスの影響があって地域にお住まいの一人暮らし高齢者の情報がつかみづらくなり、高い壁を感じるようになりました。担い手不足もあり、民生・児童委員の活動はきびしい状況です。

絆カフェの活動はすばらしいと思います。地域の高齢者が気軽に集まって来る様子を、「私たち民生・児童委員にも、まだできることがあったじゃない!」と感激しました。



石川祥江さん
民生・児童委員協議会
第七合同会長(東栗原地区会長)

サポートできる人が地域に 点在するといいな

高齢者の居場所づくりや自主グループづくりの担当として、絆カフェのような居場所が増えたらいいなと思い、以前から広報紙で紹介していました。

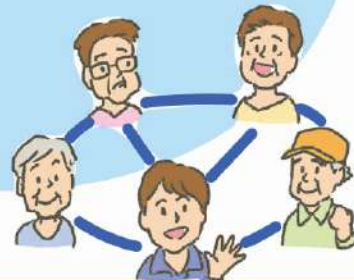
新里さんも絆カフェに来られない人の困りごと相談にも乗ってくださるとおっしゃっていたので、困りごとを解決する仕組みをなんとか広げられないかと考えていました。

足立社協の「ちよこっとサポート」は有償のボランティアですがびつたりの仕組み。30分400円が、利用する側も気持ちのうえで負担に感じることがなく、よい仕組みだと思っています。



岡本暁子さん
地域包括支援センター一ツ家
地域づくりの担当

※地域包括支援センターとは
地域にお住まいの高齢者の総合相談窓口。介護や健康に関する相談のほか、地域の居場所づくりや自主グループづくりにも力を入れています。



ちよこっとサポート隊員募集中

得意なことをお持ちの方も そうでない方も大歓迎

まずは登録説明会にご参加ください。

次回登録説明会日時

8月6日(火)午前10時~11時

場所

足立区役所12階会議室

対象

18歳以上の方

以下の二次元コードまたは電話でお申し込みください。

※9月以降の日程については二次元コードよりご確認ください。



ちよこっとサポートについての
お問い合わせは

あいあいサービスセンター
TEL 3856-0274 FAX 3856-0299

依頼の多い活動(2023年度)



フォローアップ研修

高齢者をサポートしたい方のための 車いす研修を開催します

ちよこっとサポート隊員の方を対象に、車いすの基本的な操作を学べる研修を開催します。

日時 7月29日(月)午後2時~3時

場所 足立区総合ボランティアセンター

※参加申込にはちよこっとサポート隊員への登録が必要となります。



能登半島地震災害ボランティア報告

1月1日に発生した能登半島地震の被災地域に災害ボランティアとして参加された区民の方や足立社協から派遣された職員に、現地活動の様子を報告していただきました。



内灘町災害ボランティアセンター



内灘町にある神社

災害ボランティア登録募集中!

災害ボランティアに登録すると被災地のボランティア情報や研修情報などをお届けします。

また、災害ボランティア活動助成金を受けることができます。詳しい助成条件、内容、申請方法などは二次元コードからご覧いただけます。

お問い合わせ 総合ボランティアセンター
TEL 3870-0061 FAX 3870-5900

災害ボランティア登録フォーム



災害ボランティア活動助成金



微力かもしれないけど進まなければ変わらない

4月2日~3日、祖父母が以前住んでいたまち、珠洲市で災害ボランティアとして活動しました。1日目は家の周りに落ちてきた瓦の撤去。2日目は水害に遭った家屋からの荷物の搬出です。大きい家電と畳をすべて運びました。

ニュースで見るとよりも実際に見て活動したことで、災害の凄さを実感しました。私ひとりが行ってどうなるのかなという不安は正直ありました。活動も、本当に進んでいるのか実感できないほどでしたが、微力でも継続することが復興に繋がると思って活動していました。

新出和香さん
災害ボランティアとして参加



民生・児童委員の活躍が印象的でした

3月7日~13日、内灘町の災害ボランティアセンターの運営支援に派遣されました。主な活動は、現場に向かい被害状況を確認し、ボランティアに引き継ぐ役割です。液状化によって家屋が傾くなど専門家の支援が必要なケースが多く、ニーズはあるのに一般ボランティアには手を出せない状況でした。

現地の社協スタッフも不足するなか、民生・児童委員の皆さんが活躍していたのが印象的でした。まちのこともよく把握されていて、何より被災者と私たちとのコミュニケーションを円滑にしていただけただけで、たいへん助かりました。嫁入り道具や大切なものを処分するときなど、被災者に寄り添う難しさを感じました。

竹淵優代
足立社協職員



INFORMATION

福祉施設・団体対象 配分金のご案内

最大30万円まで
赤い羽根共同募金の地域配分(B配分)の
受付がスタートしました。

対象は、利用者の備品整備や研修・講習会など、具体的に地域で活用することを目的とした事業です。詳しくは、東京都共同募金会ホームページを確認いただき申請書をダウンロードのうえ、右記へご提出ください。(郵送または窓口持参)

申請をご検討の団体向けに
説明会を実施します(要申込)



申込フォーム

日時 9月11日(水) 14:00~
会場 総合ボランティアセンター会議室A
形式 ハイブリッド型(会場とオンライン)



詳しい内容・申請書ダウンロード



【東京都共同募金会ホームページ】
<http://www.tokyo-akaihane.or.jp>

足立区の施設・団体の申請受付

提出先: 足立区社会福祉協議会総務課
〒120-0011
足立区中央本町1-17-1
足立区役所南館11階
電話: 3880-5740
FAX: 3880-5697
提出期限: 10月31日(木) ※必着

足立区社会福祉協議会
令和5年度決算報告案

皆さまからお預かりした会費・寄附金は、おはよう訪問、車いす貸出、ボランティア活動助成事業などに使わせていただきました。

収入	10億3,636万3,207円
会費収入	8,231,300円
寄附金収入	8,131,272円
補助金収入	622,494,146円
受託金収入	101,022,949円
事業収入	36,718,558円
介護保険事業収入	199,527,389円
障がい福祉サービス等事業収入	32,464,023円
受取利息配当金収入	7,101,973円
その他の収入	20,671,597円

支出 10億8,415万7,128円

法人運営事業	516,118,886円
地域福祉事業	37,723,747円
ボランティア活動推進事業	5,242,884円
助成事業	4,307,642円
生活福祉資金貸付事業	42,492,569円
福祉サービス利用援助事業	23,823,297円
障がい福祉サービス事業	34,112,542円
歳末たすけあい運動事業	875,461円
基幹地域包括支援センター	217,822,035円
地域包括支援センター関原事業	65,444,252円
受託事業	64,032,247円
障がい者保護雇用清掃事業	72,161,566円

※詳細は理事会・評議員会で承認後、7月中旬頃にホームページに掲載します。

問い合わせ 企画経営課 TEL 3880-5740
FAX 3880-5697

令和6年度「あだち社協」の発行は、夏号(7月)、秋冬号(11月)、春号(3月)の年3回を予定しております。

「あだち社協」は、区民事務所や駅の情報スタンドなどに設置してあります。また、会員の皆さまには郵送等でお届けしております。企画経営課 TEL 3880-5740

足立社協の講座やイベント情報は、毎月「公社」コーストキメキ(足立区全戸配布)にも掲載しています。今回は11月発行予定です。

ささえあいクイズ

ちょっとサポートが解決するのは何でしょう?
ヒントは1面にあります。

ちょっとした
0000

ハガキまたはホームページ専用フォームより、答え、住所、氏名、年齢、感想を記入のうえ、お申し込みください。

抽選で30名様に、だいき&こえだオリジナルキャラクターグッズを差し上げます。発表は発送をもってかえさせていただきます。(8月31日(土)当日消印有効)

あなたのご意見・ご感想をお待ちしています



クイズの応募先
〒120-0011 足立区中央本町1-17-1
足立区社会福祉協議会 企画経営課



声

75号(令和6年3月号)
「足立社協の窓口ガイド」を読んで…。(原文掲載)

●車いすステーションの項、興味深く拝見しました。一層、住み良く暮らしやすい社会になりますね。どのページもドッサリの読み応えでした。ありがとうございました。(鹿浜・Kさん)

●あだち社協毎回楽しみに読ませていただいています。色々なサービスを知っているつもりでも、なんと知らない事ばかりです。改めて色々なサービスの事勉強したいと思いました。(梅島・Oさん)

●最近、車椅子の方のダンスやスポーツを見る機会があったのですが、非常に心に響きました。とても感動しました。(梅田・さん)